

23春闘集計=5月16日現在

前年を大きく上回る賃上げ回答!

単純平均7,710円:加重平均6,816円

23春闘の5月16日現在の集計が全国一般中央より示され、回答平均は標題の金額でした。これは、前年の平均4,509円、加重平均前年4,707円を大きく上回る回答になっています。

5月16日(火)時点で回答を引き出した職場は、正規81職場(前年最終85職場)、非正規(パート)19職場(前年最終32職場)、非正規(その他)13職場(前年最終25職場)で合計113職場(前年最終142職場)でした。

正規労働者を産業別で見ると製造関係(製造、印刷、化学)、卸・小売関係、サービス関係(サービスの一般、委託、一部の自教、法律)、運輸・通信関係で高水準が前年を大きく上回る回答が多く、全体の平均を引き上

全一般愛知地本

発行

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部 = 煤本國治
 住所:名古屋市中区沢下町9-3
 労働会館本館405

憲法施行76周年記念 市民のつどい

憲法と生きる

多様性のある社会へ

第1部(コンサート)
ナターシャ・グジー
 「わがキエフ」【いつも何度でも】
 「鳥の歌」ほか

第2部(講演)
安田 菜津紀
 国際NPO法人Dialogue for People創設者/フォトジャーナリスト
 共に生きるとは何か
 一國民の声、家族の歴史から考えた多様性

2023年5月3日 祝【憲法記念日】
 名古屋市公会堂(舞舞公園内)
 JR中央線・地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅すぐ

12:00開演 13:00~16:00
 一般 1,300円 中高生・大学生 900円 Web観覧 900円
 (手話通訳・要約筆記(要予約))

主催:愛知憲法会議

非正規労働者(パート)ではこの間の人手不足なども背景に労働組合の奮闘によつて20円~60円という大きな前進を勝ち取っている職場が目立ちます。

一方、物価高で生活が大変な中でもゼロ回答、据え置き回答の職場も多くなっています。

非正規労働者(その他)では、契約社員や嘱託社員が中心ですが、多くがゼロ回答、個別回答となつています。

(中央本部メールニュースより)

憲法施行76周年記念市民のつどい

憲法記念日の5月3日、鶴舞公会堂行われた憲法会議主催の標題集会に参加しました。一部はウクライナ出身のナターシャ・グジーさんの美しい歌声から始まり、一部はサンデーモーニングのコメンテーターの一人、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの講演。安田さんは「共に生きるとは何か」をテーマに「足元のヘイトクライムや言葉の暴力を見逃せば、いずれ身体的暴力につながる」と指摘し、

今国会に提出されている入管法改定案に強く反対すると言つて

いました。どんな人でも安心して生きていける社会でなければと思いますが、「共に生きるとは何か」をあらためて考えさせられました。

(寄稿 あつた支部w)

潮干狩り 5月20(土)



5月20日に愛知地本共済会主催で3年ぶりに潮干狩りを実施。参加者は、写真と撮影者の6名でした。親子で小粒の蛤とアサリがとれましたが、バカ貝は大粒で沢山いました。帰りにハムズジェラートのお店で休憩。道の駅のランチも美味しかったです。

(記 地本共済会)